

言葉を探して「うすき雛めぐり」

3カ所の施設に飾られた「うすき雛」にそれぞれ文字が隠されています。全部集めると1つの文章になります。集めて応募すると抽選で素敵な賞品が当たります。

(応募用紙は、3カ所の施設に置いてあります)
(応募箱はサーラ・デ・うすきのみ設置しています)

い 旧真光寺 8:30~17:00

二王座にある無料休憩所。昔はお寺として実際に使用していました。2階から眺める二王座歴史の道が素敵です。

ろ 久家の大蔵 9:30~17:00

かつての酒蔵の壁面にポルトガル伝統工芸「アズレージョ」が飾られています。白杵とポルトガルとの友好関係を象徴する建物です。

は サーラ・デ・うすき 9:00~19:00

南蛮文化資料を展示している白杵の総合観光案内所です。

期間中行事のご案内

●『うすき雛づくり体験』

受講料1,000円 当日申込可(顔書のみ1,500円)

日時 雛めぐり期間中の日曜日 13:00~

場所 サーラ・デ・うすき

申込先 白杵市観光情報協会 TEL 0972-64-7130

●『菊英路社中琴演奏』

日時 2月8日(土)・3月2日(日) 10:30~

場所 旧真光寺(入場無料)

●『茶道裏千家淡交会白津青年部OB会によるお呈茶』

日時 2月8日(土)・3月2日(日) 10:30~

場所 旧真光寺(入場無料)

●『豊後水道絶景ウォーク』

日時 2月23日(日)

場所 市内各所

●『幟市(のぼりいち)』

青空市場や飲食店等で各種イベント予定

日時 3月1日(土) 10:00~

場所 八町大路



うすき雛の由来

稲葉観通(第14代白杵藩主)の時代【天保の改革】の頃、質素儉約のため町の者たちは「紙製のお雛様」しか許されていませんでした。

そんな時代にあっても、先人達は子どもの成長の無事を祈りながら、紙雛を飾ったことと思います。

当時の作り方は残っていませんが、お雛様の原型である立ち雛を参考に、シンプルで気品のある白杵らしいお雛様が2006年春に誕生いたしました。



紙雛に関する文献(出典:嘉永史捷)

一、町の者達の雛飾りは兼ねて申し付けていたように、紙製の雛人形の外は、一切禁止。是迄に衣装雛を所持している者も内緒で飾る事は禁止する。この事を在中へ御触れで通知した。

一、町で雛人形高売をしている者は、役所で決めた値段以外で高売する事は禁止する。且つ、町へ売り出さないように。兼ねてから申しつけていた様に、心得違いをしない様に。

嘉永二年(一八四九年)

二月十三日

問い合わせは うすき雛めぐり実行委員会

〒875-0041 白杵市大字白杵206-1
(白杵市観光情報協会内)

TEL 0972-64-7130

<http://www.usuki-kanko.com/>

うすき雛めぐり

平成二十六年 二月八日(土)から

三月十六日(日)まで

